

花の講座《環境園芸だより 12月号》

限られたスペースであっても立体的に飾ることでおしゃれな空間ができます。ハンギングバスケットをつくり、花と緑にあふれた街づくりに参加しましょう



西山公園花の市民ボランティア“花の輪西山”的皆さんに手取り足取りご指導いただきました。



・ハンギングバスケットは、下向き、上向きを考え、球状にするとよいことが分かった。多くのボランティアでペデストリアンデッキが飾られているのだということも、これまで知らなかつた。代金を払ってもいいので、自分用のハンギングバスケットを作つて、持ち帰りができると良かった。

・花の向きをそろえること、バスケットの中に多くの花を植えるには、適度に土を落とし向きを見ながら入れること、苔で土が流れないようにすることなどを学びました。自分が植えた花がデッキに飾られることが、とても楽しめます。

・花の輪西山の皆さんに教えていただきながら39個の葉ボタンを、色を間違えないように、下段は下向きに、中断は横に、上段は上向きにと、だんだん見事なバスケットになっていく、とても楽しかったです。

・季節の花が市街路に美しく飾られているが、今回体験したような経緯があつたことを改めて知つた。一市民として、その活動に参加できてよかったです。ハンギングは久しぶりに作りましたが、今回はボリュームたっぷりの豪華な作品となり、手ごたえ、見ごたえを感じました。

・ハンギングバスケット作りは初体験でした。まるで作るのがなかなかうまくいきませんでしたが、楽しく土と接することがうれしい楽しいと感じながら進めました。展示されたら必ず見に行きたいと思います。お世話になったボランティアの方々、ありがとうございました。

・難しかつたけれど楽しく作業が出来ました。豊田市駅前に設置され、道行く人々の目を楽しませてくれると嬉しく思います。



駅前を飾るハンギングバスケット



鶴田瑞穂先生



正月は「年神様を家に迎えて新しい年の始まりを祝う日」です。年神様に新年の幸運をもらえるように、縁起の良い植物を取り入れた寄せ植えを作りましょう